

(電子メール施行)
農技 1508 号
令和 2 年 3 月 18 日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

令和元年度病虫害発生予報第 8 号を發表します。

令和元年度病虫害発生予報 第 8 号

向こう 1 か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
春キャベツ	黒腐病	平年並	やや少
	菌核病	平年並	やや少
	アブラムシ類	平年並	少
	モンシロチョウ	平年並	少
タマネギ	白色疫病	平年並	平年並
	細菌性病害	多	やや多
	べと病	やや多	平年並
	灰色腐敗病	平年並	平年並
	ネギアザミウマ	やや多	やや多
春レタス	灰色かび病	平年並	平年並
	菌核病	やや多	平年並
イチゴ	灰色かび病	やや多	平年並
	うどんこ病	平年並	平年並
	アブラムシ類	平年並	少
	ハダニ類	やや多	平年並

* 気象の概況

近畿地方 1か月予報

(3月14日から4月13日までの天候見通し)

令和2年3月12日
大阪管区气象台 発表

<特に注意を要する事項>

2週目は気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

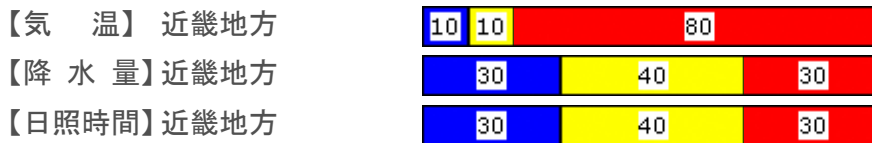
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率80%です。

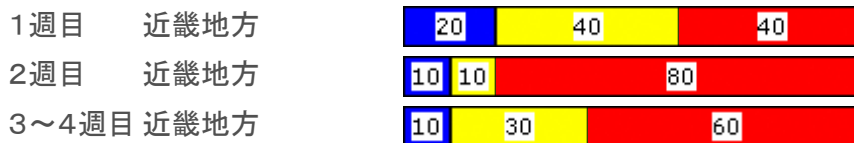
週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。2週目は、高い確率80%です。3～4週目は、高い確率60%です。

<向こう1か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>



凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



凡例: 低い 平年並 高い

* 発生概況及び防除対策上の留意点

春キャベツ

1 【黒腐病】

- (1) 予報の内容 発生量： 平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 3月上旬の巡回調査では発病は確認されなかったが、現地圃場^ほでわずかに発生が認められている。
- イ 今後1か月の気象予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、本病の発生に助長的である。このことから、本病は平年並の発生になると予想される。

2 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量： 平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 3月上旬の巡回調査では発生圃場率20.0%(平年値23.6%)、発病株率は0.4%(平年値1.6%)とやや少ない発生であった。現地圃場ではわずかに発生が認められた。
- イ 今後1か月の気象予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、本病の発病に好適な気象条件であることから、本病は平年並の発生になると予想される。

3 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量： 平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 3月上旬の現地調査では発生は確認されなかった。
- イ 例年3月中に発生がみられており、今後1か月の気象予報によると、気温は平年より高いとされており、平年並の発生になると予想される。

4 【モンシロチョウ】

- (1) 予報の内容 発生量： 平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 3月上旬の現地調査では発生は確認されなかった。
- イ 本種は蛹で越冬しており、例年3月中に羽化成虫の発生がみられている。今後1か月の気象予報によると、気温は平年より高いとされており、成虫の発生が増えるに伴い平年並の発生になると予想される。

タマネギ

1 【白色疫病】

- (1) 予報の内容 発生量： 平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 3月上旬の予察圃場^ほ及び巡回調査では発生は確認されなかったが、2月の現地調査では発病株率0.9%(前年同期値 0.0%)とわずかに発生が認められている。

イ 今後1か月の気象予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、本病は平年並の発生で推移すると予想される。

2 【細菌性病害】

(1) 予報の内容

発生量：**多**

(2) 予報の根拠

ア 2月の現地調査では発生圃場率12.5%(同期前年値25.0%)、発生株率0.25%(前年値50.0%)であったが、3月上旬の巡回調査では発生圃場率33.3%(平年値18.4%)とやや多い発生となった。

イ 今後1か月の気象予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並とされていることから、気温の上昇と降雨により本病の発生が助長され、発生は多くなると予想される。

ウ 本病害の詳細については、令和元年度病害虫発生予察注意報第2号(令和2年3月18日付け)を参考にすること(HPに掲載)。

(3) 防除上の留意点

ア 伝染源となる腐敗株を早期に抜き取り、圃場外で処分する。

イ 排水不良は本病の発病を助長するので、明渠等により圃場排水対策を徹底する。

ウ 収穫は晴天時に行うとともに鱗茎は圃場で十分に乾燥させてから実施する。また、早期収穫は貯蔵腐敗を助長するので、適期収穫に努める。

エ 薬剤防除は発生の有無にかかわらず、地域の防除暦に従って必ず実施する。薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)、地域の防除暦等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、同系統の薬剤の連用は避ける。薬剤散布にあたっては散布ムラがないよう丁寧に、かつ薬液が十分付着するように行う。

病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

3 【べと病】

(1) 予報の内容

発生量：**やや多**

(2) 予報の根拠

ア 2月の現地調査では発病は認められなかったが、3月上旬の巡回調査では発生圃場率8.3%(平年値4.9%)、発病株率0.04%(平年値0.05%)と平年並の発生となった。関係機関による調査でも一次感染株と二次感染株を確認している。

イ 今後1か月の気象予報によると、気温は平年より高く、降水量は平年並とされている。本病の発病に好適な気象条件であることから、やや多い発生になると予想される。

ウ 本病害の防除については、タマネギべと病防除対策マニュアル(タマネギべと病防除技術開発コンソーシアム発行)、令和元年度病害虫発生予察防除情報第5号(令和2年2月10日付け、HPに掲載)、同第9号(令和2年3月18日付け、HPに掲載)を参考にすること。

(3) 防除上の留意点

ア 一次感染株の抜き取りを徹底する。抜き取りにあたっては、病徴が徐々に発

現するため、茎葉が繁茂するまで定期的によく観察する。また、胞子の飛散を防ぐため、抜き取った株は直ちにポリ袋などに入れて必ず圃場外に持ち出した上で、その重量に対して1%の割合で石灰窒素を混ぜて、密封して確実に腐らせてから処分する。

- イ 薬剤防除は発生の有無にかかわらず、地域の防除暦に従って必ず実施する。薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）、地域の防除暦等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、同系統の薬剤の連用は避ける。薬剤散布にあたっては散布ムラがないよう丁寧に、かつ薬液が十分付着するように行う。

病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

4 【灰色腐敗病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 2月中旬の現地調査では発生圃場率は12.5%（前年値12.5%）、発病株率は0.3%（前年値0.3%）の発生状況であり、関係機関による調査でも発生が確認されている。

イ 今後1か月の気象予報によると気温は高く、降水量は平年並とされており、本病の発生は平年並で推移すると予想される。

5 【ネギアザミウマ】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の予察圃場では成・幼虫の虫数は6.2頭/株（平年値2.0頭）とやや多い発生であり、うち幼虫が4.3頭/株（平年値1.1頭）と例年と比べると早い時期からの幼虫の増加が見られている。同時期に行った現地調査によると発生圃場率は、極早生～早生種で90.9%、中生～晩生種で42.9%と、早生系品種での発生が早い傾向が見られる。

イ 今後1か月の気象予報によると、気温は平年より高いとされており、このまま、やや多い発生の状態で推移すると予想される。

ウ 本種については、令和元年度病害虫発生予察防除情報第10号を令和2年3月下旬に発表予定であるので参考にすること（HPに掲載予定）。

- (3) 防除上の留意点

ア 薬剤防除は地域の防除暦に従って実施して、圃場内の密度を下げるようにする。薬剤散布にあたって散布ムラがないよう丁寧に、かつ薬液が十分付着するように行う。

イ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、同系統の薬剤の連用は避ける。

病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

春レタス

1 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容
(2) 予報の根拠

発生量： 平年並

- ア 2月中旬の現地調査では発生圃場率は10% (前年値 0%)、発病株率は0.2% (前年値 0%)、3月下旬の巡回調査では発生圃場率は 25.0% (平年値27.4%)、発病株率は0.5% (平年値 1%) と、平年並の発生であった。
- イ 今後1か月の気象予報によると気温は高く、降水量は平年並とされている。現地においては既にトンネル被覆が外されているため、多湿とならないことから、本病の発生は平年並で推移すると予想される。

2 【菌核病】

- (1) 予報の内容
(2) 予報の根拠

発生量： **やや多**

- ア 2月の現地調査では発生圃場率は5% (前年値10%)、発病株率は0.1% (前年値0.2%) であったが、3月上旬の巡回調査では発生圃場率は8.3% (平年値9.7%)、発病株率は0.2% (平年値0.2%) と、平年並の発生であった。
- イ 今後1か月の気象予報によると気温は高く、降水量は平年並とされており、本病の発病(菌核からの子実の発生、子実の胞子の飛散)には好適な気象条件となる。このことから、やや多い発生になると予想される。
- (3) 防除上の留意点
- ア 発病株は早期に発見し、菌核が形成される前に抜き取って圃場外に処分する。発病が認められた圃場では二次感染が懸念されるので、薬剤散布を実施する。
- イ 薬剤防除を行う場合は、病虫害・雑草防除指導指針 (兵庫県農薬情報システム)、地域の防除暦等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、同系統の薬剤の連用は避ける。
- 病虫害・雑草防除指導指針 (兵庫県農薬情報システム)
<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

イチゴ

1 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容
(2) 予報の根拠

発生量： **やや多**

- ア 2月上旬の現地調査で既に発生が認められており、3月上旬の現地調査では発生圃場率は25% (前年値25%)、発病株率は2.0% (前年値2.0%) と、概ね平年並の発生であった。
- イ 今後1か月の気象予報によると気温は高く、降水量は平年並とされており、今後発病が助長され、本病はやや多い発生になると予想される。
- (3) 防除上の留意点
- ア ハウス栽培においては室内が多湿にならないよう換気を行う。
- イ 下葉や枯れた部分を適宜除去する。老化葉、枯死葉等は病原菌が寄生しやすく、これが伝染源となるためである。
- ウ 発病期には薬剤防除を行う。薬剤防除を行う場合は、病虫害・雑草防除指導

指針（兵庫県農薬情報システム）、地域の防除暦等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、同系統の薬剤の連用は避ける。

病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

2【うどんこ病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 2月上旬の現地調査では発病が認められており、概ね平年並の発生であった。
イ 今後1か月の気象予報によると気温は高く、降水量は平年並とされており、本病は平年並の発生で推移すると予想される。

3【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の現地調査では発生は確認されなかった。
イ 例年3月中に発生がみられており、施設内はアブラムシ類にとって好適な高温・乾燥条件になりやすいことに加えて、今後1か月の気象予報によると気温は高いとされていることから、発生は平年並になると予想される。

4【ハダニ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
(2) 予報の根拠

ア 現地調査では、1月にも発生が認められており、3月上旬では発生株率18.0%（前年値18.0%）と、平年並の発生であった。
イ 今後1か月の気象予報によると気温は高いとされている。施設内ではハダニ類に好適な高温・乾燥条件になりやすいことから、やや多い発生となると予想される。現在ハダニが発生している施設では特に注意が必要である。

- (3) 防除上の留意点

ア 薬剤散布を行う場合は、薬液が葉の裏に十分かかるように行うこと。
イ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、同系統の薬剤の連用は避ける。
病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>